



H E R E A F T E R

エネルギーの ルツボであれ



出品作家

石井利秋、うえだひろし、上野英信、片岡覺、川俣正、國盛麻衣佳、千田梅二、藤堂、広川泰士、本橋成一、山本作兵衛

関連イベント

◎オープニングイベント

日時：2024年11月2日(土)9:30~11:30
出品作家によるトークイベントなどを行います。

◎美術館でオープンカフェ

日時：2024年11月4日(月・祝)11:00~15:00
美術館にコーヒースタンドがやってきます。くつろぎのひと時をお楽しみください。

◎美術館ゼミ「地の底の御咄衆」

参加者とともに考え、手を動かし、発見していく演習型の講座。当館の館長と学芸員が、笑いあり涙ありの文化の世界へ皆様をお招きします。

- ▶ 会期中の11月2日を除く土曜日、13:00~15:00に開催
- ▶ 参加無料・当日受付・定員20名

【第1回】11月9日(土) 講義「多面的な視点を身につける」

【第2回】11月16日(土) 実技「素材が生み出す色と形」

【第3回】11月23日(土) 鑑賞「文脈を意識する」

◎ツキ市

日時：2024年11月24日(日)11:00~15:00
主催：久保田鈴菜

月に一度、どこかに現れる、衣食住遊とつながる場所。
人気のマルシェイベント「ツキ市」が大好評につき再び田川市美術館にやってきます。出店情報などのお問い合わせはこちら rena.kubota3707@gmail.com

火床であれ

上野英信「絶筆」より

コールマイン未来構想 記憶を紡ぐ——炭坑文化の未来を考える

会期：2024年11月2日(土)~11月24日(日)

開館時間：9:30~17:30(最終日は16:30まで) ※入館は閉館の30分前まで

会場：田川市美術館

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)

観覧料：一般800(700)円、高大生400(300)円、小中生200(100)円、未就学児無料

※()内は20名以上の団体および田川市在住者[要身分証明書]の料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名無料
※土曜日は高校生以下無料

主催：田川市美術館

協力：アートフロントギャラリー、田川市石炭・歴史博物館
後援：田川市、田川市教育委員会

明治時代以降、石炭資源を背景に筑前国と豊前国の頭文字をとって生まれた「筑豊」。本展は、この炭坑文化をテーマに、炭坑記録画に代表される記憶から生まれた作品が、次第に石炭やボタといった素材に注目した表現に移り変わる過程を展示します。資源を中心にめぐる人々の仕事と生活は、時代や地域を超えて共有される価値を有しています。本企画を通じて、近代化を支えた「筑豊」の姿を提示できれば幸いです。

筑豊よ



①

②

③

④

表紙：藤堂《Block Book「写真万葉録・筑豊」》2020年
①藤堂《筑豊ボタ》2020年、photo: 伊奈英次
②國盛麻衣佳《見てきたもの》2023年
③上野英信《昇坑》1956年
④千田梅二《炭坑仕事唄板画巻 ままになるなら〜》1956年
⑤本橋成一《福岡 筑豊地方》〈炭鉱〉より、1965年 ©本橋成一
⑥キャップランプ (携帯式帽上電気安全灯)、宇部市石炭記念館蔵

田川市石炭・歴史博物館コラボ企画

◎スタンプラリー

期間：2024年11月2日(土)~11月24日(日)

田川市石炭・歴史博物館と田川市美術館の各企画展をご覧いただいた方に記念品をプレゼント!

◎石炭がつなぐアート&ヒストリー

田川市石炭・歴史博物館と田川市美術館の学芸員が、展示の魅力を語ります。動画は各館のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。

前編：「炭坑の機械たち」編 10月下旬公開
後編：「コールマイン未来構想」編 11月上旬公開



同時開催

令和6年度秋季田川市石炭・歴史博物館 山本作兵衛コレクション原画企画展
ヤマの機械たち 石炭に挑む技術と機械

期間：2024年10月22日(火)~11月24日(日)

会場：田川市石炭・歴史博物館



ACCESS



〒825-0016 福岡県田川市新町11-56 TEL 0947-42-6161
<https://tagawa-art.jp/>
キュレーション 佐々木愛

